



学ぶことを力に 語りあうことを力に

人間発達研究所は、人間発達について学んだり研究したりする場を求めている人や若手研究者の拠点として1985年に誕生しました。発達保障学校は、その活動の成果を伝えつつ、次代の担い手を育成する場をとのねがいを込めて、2000年に開校しました。目の前にいる子どもや青年はどのような発達のすじ道をたどり、その時々にはどのような援助が必要なのか？ 発達を学び、実践のあり方を考えあい、社会のあり方を考えあう、他にはない学びの場です。あなたもここで学ぶ楽しさを味わってみませんか？ 各コースには「世話人/TA」がおり、受講をサポートします。

事前学習会&説明会

テーマ：発達・発達保障を学ぶ魅力（仮）

日時：2025年5月11日（日）9:30～11:30 参加無料

講師：尾添信枝さん（元養護学校教員・臨床発達心理士）

形態：オンライン開催（zoom）※録画配信もあります

尾添さんは1999年に研究所に入会、発達保障学校には2002年から参加され、最初は教員として岡山から、さらに臨床発達心理士の資格をとって現在は東京で働き、今も学び続けておられます。福祉や保育、教育の場で働こうと決意する人々に、尾添さんの精力的な学びとあゆみから、たくさんのヒントがもらえることと思います。各講師によるコースの紹介もあります。オンラインでの開催ですが、ブレイクアウトルームを利用して個別の相談にも応じます。どなたでもご参加いただけます。ちょっと覗いてみませんか？

発達基礎理論研究コース公開集中講義

テーマ：1～3歳頃の自己と自他理解の発達

日時：2025年5月24日（土）9:30～16:30（予定）

講師：木下孝司さん

（神戸大学国際人間科学部子ども教育学科教授）

会場：コラボしが21（大津市打出浜2-1）中会議室

受講料：【一般】 6,600円
【会員（2024年度退会の方も含む）】 3,850円
【25歳以下会員】 2,200円



申し込みについて

申込締切：各コース開始8日前
受講申込書か
右QRコードから
お申し込みください
受付開始は
2025年4月1日より



インターネット
申込みサイト

受講料

10回コース/研究科

【一般】40,700円（税込）

【会員】35,200円（税込）

【25歳以下会員※】
27,500円（税込）

5回コース

【一般】20,350円（税込）

【会員】17,600円（税込）

【25歳以下会員※】
13,750円（税込）

発達診断方法論基本編

【一般】4,070円（税込）

【会員】3,520円（税込）

【25歳以下会員※】
2,750円（税込）

入門の入門コース

【一般・会員】9,020円（税込）

【25歳以下会員※】
6,600円（税込）

※1999年4月2日以降生まれの会員
が対象です。

同時入会で会員価格を適用します。

申し込み後のキャンセル

郵送・FAX・Emailでお知らせ下さい。
講義開始後はキャンセルできません。

人間発達研究所

〒520-0052 滋賀県大津市朝日が丘1-4-39 梅田ビル3階

http://www.j-ihd.com

Email j-ih63su@j-ihd.com Tel/fax 077-524-9387

入門の入門コース（乳幼児期・青年成人期）

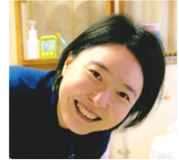
対面開催 講義とグループワーク 3回（9:00～12:30）

【講師】安藤史郎（社会福祉法人 療育・自立センター）

黒川真友（社会福祉法人 おおつ福祉会）

松永朋子（射水市こども家庭センター）

入職後3年くらいまでの方のコースです。乳幼児期から成人期を対象とする方まで、「座学でしっかり学び」→「悩みを出し合い」→「学びを共有して明日からの実践につなげる」という構成で、グループワークもしながら学び合います。「わからない」を共有し合って、お互いの学びを深めましょう。目の前で起こっている問題や悩みを発達的に読み解くとどうなるのか。そのような見方・考え方の入り口に立てることをめざします。講義で発達や発達保障について基本的なことを学び、実践の楽しさや難しさについて、みんなで分かち合ひましょう。



発達入門コース

ハイブリッド開催 講義形式 5回（13:30～16:30）

【講師】高田智行（大津市総合保健センター）

「発達とは？」からはじまって、乳児期から就学前までの発達の道筋を追いながら発達の基本を学ぶコースです。発達は「～歳の発達の特徴は…」というように定点で捉えるのではなく、つながりの中で捉えることでみえてくることがあります。そのみえてきたことをどう実践にいかすのか、乳幼児健診や障害児保育などの実践事例も交えて講義をすすめます。子どもを発達の主体・発達の権利主体として捉えるということについても、皆さんと一緒に考えたいと思います。



実践が楽しくなる実践記録コース

集中講義（対面開催）と

オンライン開催 ゼミ形式 3回（9:00～12:00）

【講師】山本翔太（社会福祉法人 桃郷）

実践記録を書く——。「何」を書いたらいいのか。「どう」書いたらいいのか。日々の実践の一コマ、相手の思い、自分の思いを言語化できるようになること、10年後に読み返しても「生き生きとした姿が目に見えよう」ような記録を書くことをめざします。

今年度も①集中講義と、②自分で書き上げたい人のゼミの2本立てを企画しました。①のみの受講も可能です。②は個別添削もしながら、実践記録を1本書き上げられるようにサポートします。初任～中堅の人に。



実践を学びあうコース

ハイブリッド開催 ゼミ形式 5回（13:00～16:00）1回目は9:30～12:30

【講師】田村和宏（立命館大学）

日々向き合っている障がいのある子どもや青年・高齢者へのとりくみ（活動や仕事）やその姿、生き方について、参加している多様な職場の人たちの眼でいっしょに解きほぐしてみませんか。自分の実践を多様な視点から見直してみることで、「わたしも、なかなかやん」「こういう見方があったか」など、障がいのある人たちの内にある「ねがい」に触れ、新たな気づきに出会えて、自分自身も発達します。そんなコースです。発表される実践報告から、いま大切にしたいことについて意見交換したり、参加者の感想から自分のところではこうしているという比較の議論も起こったりします。難しい話をするというより、こんないろんな話が職場でもやれたらなあという、職場を変えていくおみやげ付きのコースです。



福祉政策コース

ハイブリッド開催 講義形式 5回 (13:00~16:00) 1回目は13:30~16:30
【講師】 田村和宏 (立命館大学)

参加者の日頃の疑問や関心を出発点に、日頃ピンとこない福祉政策について講師がわかりやすく解説します。実践の厳しさがどこからきているのか、どういう考えからきているのか、個人の発達と集団や社会のあり方をつなげて理解ができるような意見交流を行います。昨今は制度が変わるスピードが速く、その「改正」はどういう意味があるのかということを考える時間は、日々の実践のなかではなかなかとれないのが実態です。ですから「自分たちの実践が、今日の社会の在り方の中でどこに向かっていているのか、主人公は誰なのか」に気づける「発達保障の眼」をこのコースでつけていきましょう。主には社会保障審議会障害者部会やこども家庭庁障害児支援部会、報酬改定などを中心にミニ講義と意見交換をします。時間があれば、社会保障や人権について“井戸端”トークをしようと思います。



発達基礎理論研究コース

ハイブリッド開催 ゼミ形式 10回 (13:30~16:30)
【講師】 荒木穂積 (立命館大学名誉教授)

田中昌人らの「可逆操作の高次化における階層-段階理論」の学習をすすめます。2025年度は、幼児期中頃(3歳から5歳未満)に焦点をあてて学びます。前半は田中昌人『人間発達の科学』青木書店,1981年、田中昌人『人間発達の理論』青木書店,1988年をテキストに、「話しことば獲得期」や「自制心の形成」の時期の理論とその発展過程を学んでいきます。後半は田中昌人・田中杉恵『子どもの発達と診断4:幼児期Ⅱ』大月書店,1986年をテキストに発達診断と発達支援の実際について学んでいきます。併行してDVD版『発達診断の実際3歳児・4歳児』、『あそびの中にみる3歳児・4歳児』等の映像を活用して行きます。

幼児期前半の発達を学習したい方、発達理論を学習したい方、実践者、大学院生、若手研究者のみなさん参加を期待しています。公開学習会・集中講義も別途計画します。難解といわれる発達理論ですがゼミナール形式で楽しく集団的に学んでいきましょう。



発達診断方法論 基本編コース (心理専門職コース)

対面開催 ゼミ形式 1回 (13:00~16:00)
【講師】 木下孝司 (神戸大学)

発達診断と、保育・教育の専門性に基いた子ども理解には、方法論の相違もありますが、子どもの内面世界を読み解き、その願いや悩みを再発見するという目標は共有されるものです。発達診断に実践的な視点を導入して、子ども理解を深めていくのに必要な発達研究の方法を確認して、受講者の皆さんが発達診断において工夫されていることを交流します。



発達診断方法論 臨床編コース (心理専門職コース)

対面開催 ゼミ形式 5回 (13:00~16:00)
【講師】 松島明日香 (滋賀大学)
富井奈菜実 (奈良教育大学)

このコースは、発達診断において欠かせない基本的な概念の整理(講義、文献学習)と、事例を通しての学び(演習)の組み合わせによって学習していきます。新版K式発達検査を学んだことがある人、発達相談・発達診断に携わっている人が対象です。同時に「発達診断方法論基本編コース」を受講されることをお勧めします。



研究科

ゼミと個別指導によって論文を書き上げます。2025年10月～2027年10月

【研究科長】 渡部昭男（鳥取大学名誉教授）

【研究副科長】 山田宗寛（立命館大学）

オンライン開催です。2年間で修了論文を書き上げ、『人間発達研究所紀要』への投稿や学会等への発表をめざします。2か月に1回程度の全体ゼミと発表会があり、担当教員が伴走的に執筆を支援します。申し込みの際には研究計画を作成していただき、面接（オンライン）のあと受講を決定します。紀要への投稿は、先行研究やテーマの妥当性・独自性が必要な原著の他に、実践記録、事例検討、研究ノート、動向、報告、実践紹介、資料等があります。発達に関わる論文の場合は、心理学の基礎的学習を終えられていることが望ましいです。このコースの締め切りは9月末です。



コース	入門の入門	発達入門	実践が 楽しくなる 実践記録	実践を 学びあう	福祉政策	発達基礎 理論研究	発達診断 方法論 基本編	発達診断 方法論 臨床編
回数	3回	5回	5回	5回	5回	10回	1回	5回
講師	安藤史郎 黒川真友 松永朋子	高田智行	山本翔太	田村和宏	田村和宏	荒木穂積	木下孝司	松島明日香 富井奈菜実
開催形式 と会場	対面 (研究所)	対面と録画 (研究所)	対面(大津市 内)と オンライン	ハイブリッド (研究所)	ハイブリッド (研究所)	ハイブリッド (研究所)	対面 (大津市内)	対面 (研究所)
定員	20人	70人	10人	15人	15人	15人	10人	10人
6月		29日(日)		28日(土) 9:30~	28日(土) 13:30~	7日(土)		
7月	13日(日)	27日(日)	13(日) 対面・ 集中講義		19日(土)	5日(土) 26日(土)		
8月		31日(日)		24日(日)		30日(土)	30日(土)	
9月	7日(日)	28日(日)			20日(土)	27日(土)		13日(土)
10月		26日(日)	5日(日)	19日(日)		25日(土)		11日(土)
11月			16日(日)		29日(土)	15日(土)		
12月	7日(日)		個別添削	21日(日)		20日(土)		13日(土)
1月						10日(土) 11日(日)		10日(土)
2月			15日(日)	3月1日(日)	21日(土)			14日(土)

実践が楽しくなる実践記録 集中講義

日時: 2025年7月13日(日) 12:45~16:45

会場: コラボしが21 (大津市打出浜2-1)

ゲスト講師: 竹澤 清 (NPOあいち障害者センター)

講師: 山本翔太 (社会福祉法人 桃郷)

受講料: 【一般】 5,000円 (税込み)

【会員】 3,500円 (税込み)

【25歳以下会員】 2,500円 (税込み)



「実践が楽しくなる実践記録コース」を受講される場合は初回になり、別途受講料は不要です。

10月から、発達保障入門コース(仮称)開講予定です。乞うご期待！

2025.3.26

発達保障学校2025